

製品紹介

Our Products

時代のニーズに対応した、
最適な製品・ソリューションを
提供します。

IDECは、時代とともに変化する顧客ニーズに
お応えするため、制御技術を核とする
さまざまな製品・ソリューションに加え、
コア技術を活用した新しい価値を提供することで、
ものづくりとくらしの未来を支えています。



Industrial Switches

スイッチ事業 [P17](#)

IDEC



■ 制御用操作スイッチ



■ 非常停止用押ボタンスイッチ

APEM
an ECOSYSTEM



■ 産業用スイッチ

■ ジョイスティック



Industrial Relays & Components

インダストリアルコンポーネンツ事業 [P19](#)



制御用リレー



端子台



サーキットブロテクト



スイッチング電源



産業用LED照明



Automation & Sensing

オートメーション事業 [P21](#)



プログラマブルコントローラ



ティーチングペンダント



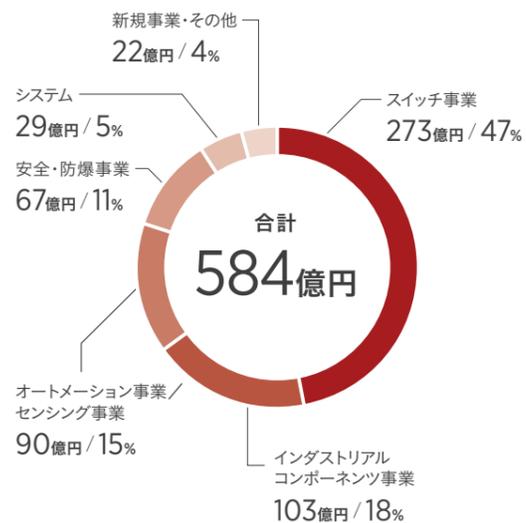
プログラマブル表示器

センシング事業 [P21](#)



センシング機器

2019年度 売上高構成比



Safety & Explosion Protection

安全・防爆事業 [P23](#)



セーフティレーザスキャナ



安全スイッチ



イネーブススイッチ



防爆表示器ボックス



防爆コントロールボックス



防爆ネットワークカメラシステム



New Business

新規事業 [P25](#)



協調安全ロボットシステム



環境・エネルギー関連事業



次世代農業ソリューション

※2019年度より、製品種類別の名称を変更いたしました。



Industrial Switches

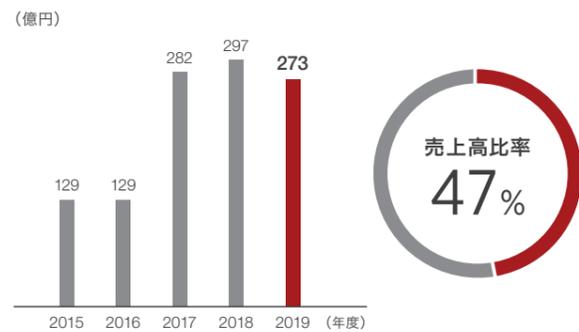
スイッチ事業

スイッチ分野のリーディングカンパニーとして、人と機械の最適環境を創造します。

創業以来培ってきた制御技術により、FA(ファクトリー・オートメーション)機器だけでなく生活の身近なシーンにおいても、革新的なソリューションをグローバルに提供し、安全・安心な社会の実現に貢献しています。

製品の品質や耐久性、安全性を追究するとともに、使いやすさ、デザイン性にもこだわった製品ラインアップを備えることで、IDECグループは制御用操作スイッチのグローバルNo.1カンパニーを目指し、人と機械をつなぐさまざまなソリューションを提供してまいります。

売上高推移



2019年度の業績

日本においては、工作機械やロボットなど主要業界向けの売上が全般的に減少しました。

また、前年度まで好調だったAPEM社についても、為替や市場環境の変化により減速したことなどから、米州、欧州、アジア・パシフィックなど幅広い地域で売上が減少しました。

TOPIC

業界初のLED球を搭載したスイッチ

1つで6色を表現することができるLED球を開発し、業界で初めてスイッチと表示灯に搭載しました。φ22コントロールユニットHW・CWシリーズに採用したこのLED球は、レンズを入れ替えるだけで6つの色を表現できることから、色変更・在庫管理の工数削減が可能となります。

また記銘した文字の視認性を向上するとともに、色覚の個人差を問わず、多くの方にとって見やすい配色であるカラーユニバーサルデザイン(CUD)認証を取得*した製品をオプションとして用意するなど、多様な製品ラインアップで現場の課題解決に貢献します。



*日本国内の認証で、HWシリーズの一部機種で対応

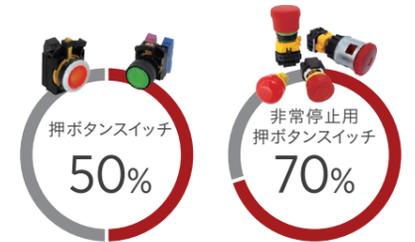


事業戦略

日本で圧倒的なシェアを持つ主力製品

1958年に制御用操作スイッチの販売を開始して以来、時代に即したニーズに合わせて多種多様な製品を開発し、製品ラインアップを拡大するとともに、設計の見直しや品質改良を重ねることで日本国内で高い市場シェアを獲得してきました。

これからも新しい時代に求められる製品を開発することで、他社との差別化を図り、競争力の強化を推進していきます。



主力製品の国内シェア(2020年2月末時点)
※自社調べ

制御用操作スイッチの「グローバルシェアNo.1」へ

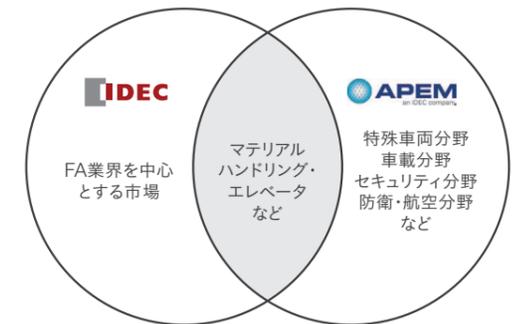
近年、さまざまな現場で多様な人材が必要とされていることから、誰でも安全に、簡単に、そして効率よく働ける環境を整えていくことが求められています。IDECではさらなる安全性を追究した新製品の開発を継続するとともに、省配線・省スペース・高い信頼性を実現する配線方式であるPush-in接続方式を採用した製品のラインアップ拡充などに取り組んでいます。



Push-in接続方式を採用した製品

2017年には、欧州で高い知名度とシェアを持つフランスのAPEM社が、アジア地域に強みを持つIDECのグループ会社に加わったことで、地域ポートフォリオの適正化を図ることができました。欧州におけるAPEM社の広範な販売網を活用することでIDEC製品の売上を拡大するとともに、APEM製品のラインアップ拡充により、米州や日本などにおいて新規市場への参入や顧客提案の強化を図っています。またAPEM社の主力販売業界は、FA業界を中心とするIDECとは異なることから、それぞれが強みを持つ製品や地理的プレゼンスなどの相互補完により、グローバルでシナジーを創出し、事業の拡大を推進しています。

制御用操作スイッチのリーディングカンパニーとして、社会のニーズに対応した新しい製品とソリューションを創造し、お客さまの生産性向上のためにHMI環境を革新し続けていきます。



IDECとAPEMの主力販売業界



Industrial Relays & Components

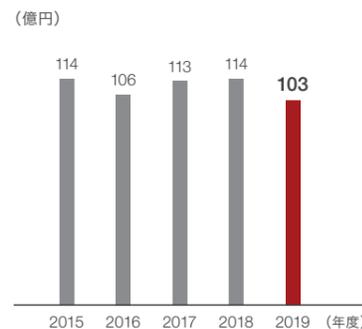
インダストリアルコンポーネンツ事業

幅広いラインアップで、お客さまの課題を解決します。

インダストリアルコンポーネンツは、機械装置や生産ラインを操作・制御するために使われる、制御盤や制御部に組み込まれる各種電気機器の総称で、生産現場はもちろんのこと、エレベータ制御を含むビルの設備管理や自動倉庫、工作機械や半導体製造装置など幅広いシーンで使用されています。

装置や設備のインテリジェント化や省スペース化、品質の安定化のニーズがますます強まっていることから、IDECでは制御盤内の各種機器に新しい技術を付加し、作業効率の向上や利便性の高い快適な生産環境を提案することで、さまざまな課題解決をサポートし続けています。

売上高推移



2019年度の業績

米中貿易摩擦や新型コロナウイルスの影響などにより設備投資需要が減少したことから、日本に加え、売上寄与の大きい中国を中心とするアジア・パシフィックや米州などにおいても、制御用リレーや端子台などの売上が減少しました。

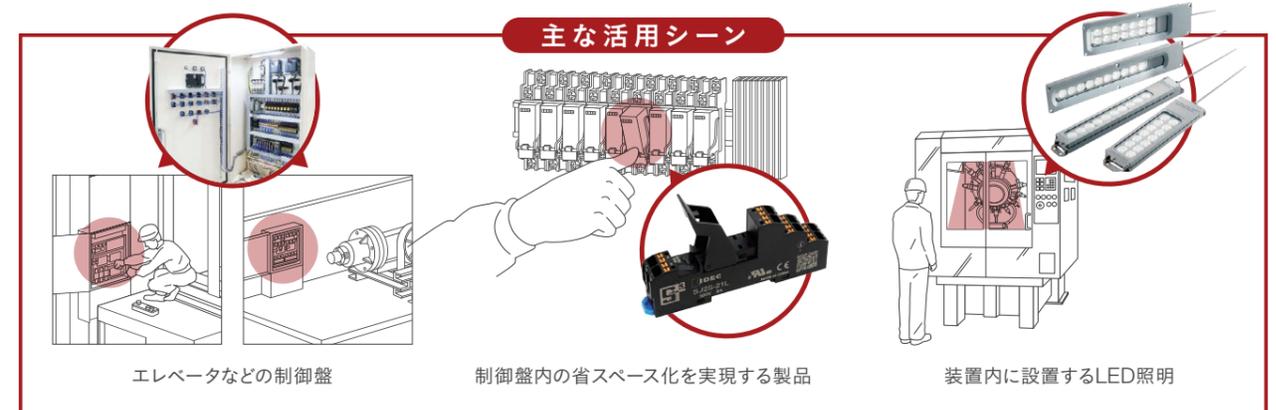
TOPIC

Weidmüller Interface GmbH & Co. KG社との協業

世界トップクラスのシェアを持つ電気接続機器の開発・生産・販売を行ってきた会社で、端子台のリーディングカンパニーであるWeidmüller社と、2019年3月に戦略的なパートナーシップ契約を締結しました。

Weidmüller社製のDINレール端子台の日本独占販売を開始するとともに、高いPush-in技術を活かした各種製品の開発や、技術交流による共同開発なども含めた戦略的パートナーシップを推進しています。

Innovation by **IDEC** **Weidmüller**



事業戦略

制御盤のトレンド

労働力不足の課題を抱えるものづくり現場において、工場設備を制御する制御盤に加え、配電盤^{※1}や分電盤^{※2}といった各種盤に内蔵する機器選定・配置を設計する電子CADへの対応、また各種盤の現場設置時や定期メンテナンス時に一定の品質を保ちつつ効率的に各作業を実施するべく、今まで業界で普及していた「ねじ方式」に代わり「Push-in接続方式」の普及を推進しています。接続方法のPush-in化により、配線作業や保守作業での大幅な工数削減と機器のスリム化が実現できることから、すでにPush-in接続方式が定着している欧州をはじめ、米州や日本でも今後ますます普及が拡大していくことが見込まれます。

※1: 高圧受電された電気を各場所へ配電する製品
※2: 配電された電気を各機器へ分配する製品



Push-in対応製品の拡充とIDECのサポートサービス

Push-in接続方式の新製品として、SJ、SUシリーズのリレーソケットを発売しました。今後もPush-in接続方式に対応した製品の拡充を図っていきます。また、IDECではPush-in対応機器の導入をサポートするために、手動に比べ高品質に短時間でフェール端子と電線を圧着することができる自動圧着機など、Push-in導入に必要な各種工具の販売・レンタル・校正などのサービスも実施しています。



全ての思いをひとつに

IDECのDNAである省 (Saving) と安全 (Safe) は、1970年代後半から浸透・追究し続けてきたテーマです。昨今、急速なインテリジェント化が進み、耐環境性・高信頼性が求められ、人材不足などの社会課題に向き合うことが必要です。これらの課題解決を実現するために、「Safe, Simple & Smart = S³ (エスキューブコネクト)」を定め、より革新性と持続性をもたらす製品やサービスを社会へ提供していきます。



Safe

世界一安全を追求する企業として誰もが安全かつ安心して使える製品

Simple

熟練度を問わない簡単接続で全てのお客さまから愛される製品

Smart

未来を見据えるスマートな選択で「省工数」「省スペース」をかたちにする製品



Automation & Sensing

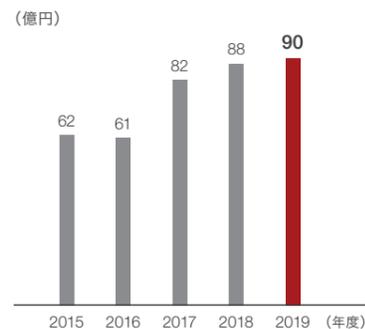
オートメーション事業 / センシング事業

IoTやIndustry 4.0時代に最適なソリューションを提供します。

労働人口の減少やIoTなどの進展にともない、遠隔監視・操作への対応に加え、作業の高効率化や自動化推進のキーデバイスとなる製品の需要が高まっていることから、多種多様な製品をラインアップしています。

機械設備や生産ラインを制御するプログラマブルコントローラや、快適な操作環境を実現するプログラマブル表示器などのオートメーション機器に加え、状態の変化や物体を検出するセンサ、トレーサビリティ用途での需要が拡大するコードリーダー、RFIDなどの自動認識機器といったセンシング機器など幅広いソリューションを提供することで、生産の自動化・効率化に貢献しています。

売上高推移



2019年度の業績

日本においては消費増税前の需要増加により、リテール向けを中心としたバーコードリーダーなど、自動認識機器の売上が堅調に推移しました。

一方、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器といったオートメーション機器や、各種センサなどのセンシング機器については、市場環境の悪化などにより売上が減少しました。

TOPIC

操作性を向上したプログラマブル表示器ハンディタイプ

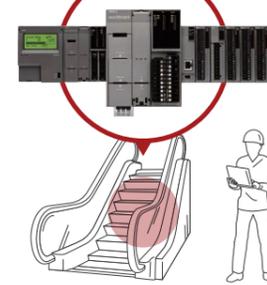
軽量構造ながら、高解像度の4.3インチディスプレイを搭載するとともに、人間工学に基づいたデザインで、使いやすく長時間作業の負担を軽減するプログラマブル表示器ハンディタイプの新製品「HG1P形」を、2019年5月に発売しました。

HG1P形は、産業用ロボットなどに実際の作業や動作を教示する際などに使われるティーチングペンダントの用途だけでなく、従来の固定式操作盤をモバイル化することができるため、操作盤のコストとスペースを削減します。また、堅牢性も兼ね備えるなど多様化する生産現場に対応した製品で、操作対象に近づいて操作することによって、より確実な操作が可能となります。

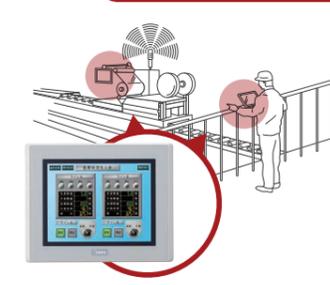


プログラマブル表示器
ハンディタイプ「HG1P形」

主な活用シーン



遠隔監視・操作を実現するプログラマブルコントローラやプログラマブル表示器



作業効率を向上させるウェアラブル端末

事業戦略

自動認識機器事業を強化

2017年に、コードリーダーなど自動認識機器の分野において高い技術力を持つ株式会社ウェルキャットをグループ化し、製品ラインアップの拡充と販路の拡大を図りました。

また2020年4月に、RFID、ハンディターミナルなどのウェアラブル端末やソフトウェア開発に強みを持つ株式会社ウェルキャットを、リテールや物流向け製品に強みを持つIDEC AUTO-ID SOLUTIONS株式会社に統合することで、双方の強みを活かした事業拡大を推進しています。



IoTを実現するソリューション提案を推進

あらゆるものが「つながる」時代に最適な、プログラマブルコントローラ、プログラマブル表示器、センサ、コードリーダーなどにIoTを実現する機能を強化し、さまざまな課題解決に貢献するソリューション提案を推進しています。

遠隔監視と操作システムのイメージ

- データをためる** 現場で必要なデータを検出/測定します。
- データを送る** インターネット上のサーバにデータを送ります。
- データを見せる** 遠隔地でも、パソコン、タブレットなどの端末から現場の状況を知ることができます。
- メールで通報する** 異常が発生する警報メールを発信します。
- 遠隔地から操作する** 離れた場所から現場の設定を変更できます。IO-Link対応のセンサではパラメータの変更が可能です。





Safety & Explosion Protection

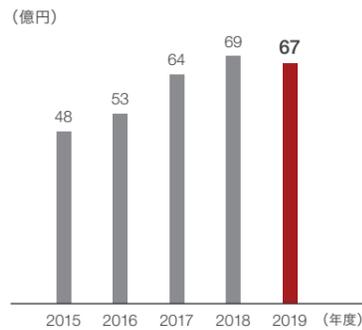
安全・防爆事業

世界一安全・安心を追究・実現する企業として、安全性と生産性向上に役立つソリューションを提供します。

IDECは創業以来、人と機械の安全な環境を考え、安全性、信頼性、使いやすさに徹底的にこだわった多様な安全関連機器や防爆関連機器を開発し、安全性と生産性を向上させるソリューションを展開しています。

人と機械の協調安全を実現する次世代の安全思想「協調安全/Safety2.0」の考え方に立ち、人が危険を回避だけでなく、機械も人の危険を察知して安全を制御することができる新たな安全関連機器アプリケーションをご提案すると同時に、新たな規格づくりや、コンサルティングといった安全の普及活動にも力を入れています。

売上高推移



2019年度の業績

グローバルな設備投資需要の減少により、主に海外において安全スイッチやセーフティレーザスキャナなど安全関連機器の売上が減少しました。

防爆関連機器についても、日本において売上が減少しました。

TOPIC

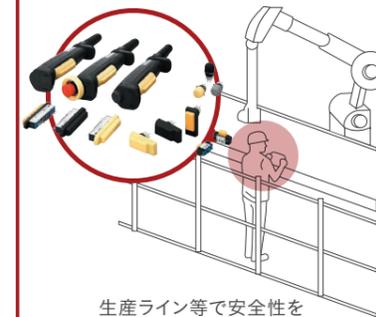
安全・安心な生産現場の実現に貢献する防爆関連機器

IDECでは70年以上にわたる防爆技術の研究開発に基づき、時代の変化に即しながら、爆発性ガスを扱う石油プラントや倉庫などで使用できる多様な防爆関連機器を開発してきました。

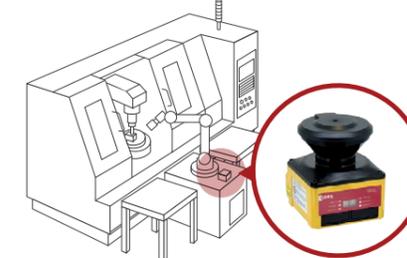
可燃性ガスや液体が存在する現場では、安全確保のために通常の制御機器ではなく、防爆エリアでも使用できる防爆製品が必要不可欠です。IDECグループの強みや知見を融合し、2019年には業界で初めて国内防爆検定を取得した、侵入・存在検知が可能な防爆マットスイッチの販売を開始しました。今後も幅広い業界における産業事故を防止し、安全・安心な生産現場の実現に貢献できる製品開発に取り組んでいきます。



主な活用シーン



生産ライン等で安全性を確保するインバールスイッチ



エリア内の存在検知が可能なセーフティレーザスキャナ



扉や安全柵の開閉を検知し安全対策に役立つ安全スイッチ

事業戦略

安全・安心分野のさらなる強化を推進

2018年に感圧スイッチの国内主要メーカーである株式会社東京センサがIDECグループに加わったことで、テープスイッチや、無人搬送車(AGV)等に使用される衝突検知が可能なバンパースイッチ等、安全・安心関連機器のラインアップが揃い、多様なニーズに対応可能となりました。2019年にIDEC本社が株式会社東京センサを吸収合併したことで、生産・販売および技術開発等の一体運営による効率化を図り、グローバルへの拡販を推進していきます。



協調安全/Safety2.0のリーディングカンパニー

安全への考え方は、人の注意力や判断力により安全を確保してきたSafety0.0にはじまり、機械側に安全対策を施し隔離と停止により安全化を図るSafety1.0、そして近年では、人と機械が協調し、安全性と生産性の両立を実現するSafety2.0へと、時代とともに変遷しています。

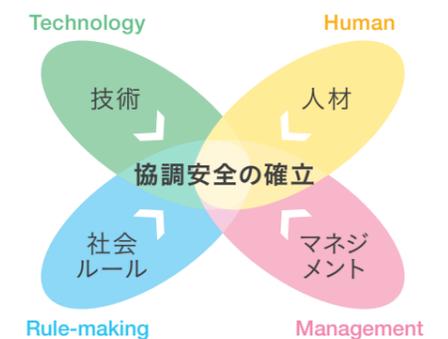
次世代の安全思想である協調安全/Safety2.0を追究し、実現するために、IDECが保有する安全技術やノウハウにIoTやAI技術を組み合わせることで、人と機械が安全柵なしに同じエリアで作業をする現場においても安全性と生産性を向上できる新しい製品開発に取り組んでいます。2019年からは「Safety2.0適合審査登録制度」を活用することで、Safety2.0の時代に最適な製品の開発やソリューションを提案し、より安全な社会の実現に貢献します。



世界一安全・安心を追究・実現する企業へ

協調安全/Safety2.0は、技術開発に加え、人材育成、マネジメント、社会ルール形成の4つの側面から包括的にアプローチすることで、安全性と生産性の向上を実現します。

他社との協業を通じた技術開発や、ロボット・セーフティアセッサ等の安全のプロフェッショナル人材の育成、安全・健康・ウェルビーイングの向上を図るVision Zeroへの参画、国際標準化活動の推進等を通じて安全・安心の新たな潮流を形成し、業界業種の垣根を越えてグローバルへの拡大を図っています。





New Business **新規事業**

制御技術を活用した多様なソリューションで、社会課題の解決に貢献します。

IDECグループの新規事業は、IDECファクトリーソリューションズ株式会社を中心とする協調安全ロボットシステム事業と、IDECシステムズ&コントロールズ株式会社を中心とする環境・エネルギー関連事業を主な領域として展開しています。産業現場での労働力不足や地球温暖化などの社会課題に、IDECグループ一丸となって貢献しています。

売上高推移



2019年度の業績

環境・エネルギー関連事業の売上は、前年度に比べて減少したものの、営業利益額、営業利益率は過去最高となりました。協調安全ロボットシステム事業については、中小企業を含む多様な企業向けに導入事例が増加するなど、売上は堅調に推移しました。

事業戦略

協調安全ロボットシステム事業

IDECの強みである安全関連機器や安全システムを軸に、各種メーカーの協働ロボットやビジョンセンサ、人工知能(AI)、自律走行搬送ロボット(AMR)などを組み合わせたシステムと多様なアプリケーションパッケージを、顧客ニーズに合わせてご提供しています。



環境・エネルギー関連事業

自家消費型ソーラー発電をはじめとする再生可能エネルギーや、BCP(事業継続計画)対策のための電力供給、次世代農業ソリューション、それらを連携させた生産、物流、店舗までのサプライチェーン全体におよぶストアソリューションなど、長年培ってきた制御技術、環境技術を活かして、グローバルレベルで進行するさまざまな社会課題の解決に貢献しています。

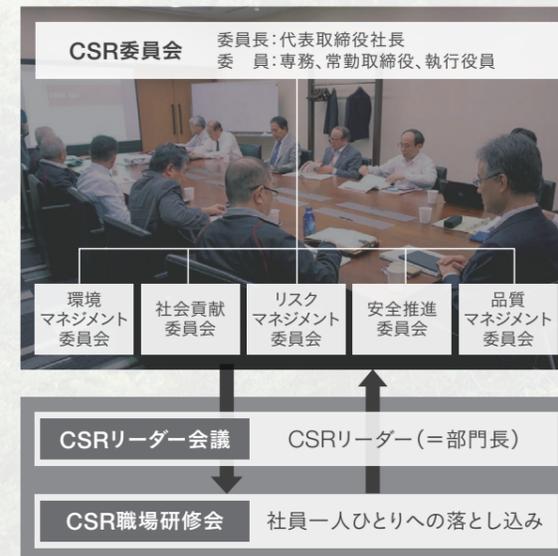


経営と一体となったCSR活動

IDECグループは、創業の理念である「人間性尊重経営」を最も重要な基盤とし、IDECグループを取り巻く全てのステークホルダーの皆さまの幸せを最大化することを大切にしています。これを推進するための取り組みとして『The IDEC Way』、CSR憲章、そして国連グローバル・コンパクト10原則に基づいたCSR活動を行っています。CSR活動を、経営の重要課題と位置づけ、CSRマネジメント体制を構築しています。

CSR推進体制

IDECグループは、2018年4月より、持続可能な社会の実現に向けて企業の社会的責任を果たすため、代表取締役社長を委員長とする「CSR委員会」を設置しました。ESGに私たちの強みである「安全」「品質」を加えた5つの分野の専門委員会を設け、独自のCSR活動を推進しています。各専門委員会の委員長は執行役員とし、専門知識や経験を持ったメンバーで構成し、テーマに即した施策に取り組んでいます。CSR委員会は年2回開催し(2019年度は4月、10月)CSR活動全般および各専門委員会の取り組みについて審議・承認し、CSRリーダー会議、CSR職場研修会を通じて全ての社員へ展開しています。



サプライチェーン全体で取り組むCSR

社会の持続可能な発展に貢献することを目的に、サプライヤーさまと協力し、国内外でCSR調達を推進しています。IDECの主力工場の一つである中国・蘇州の生産拠点では、2017年より毎年「お取引先さま交流会」を開催しており、2019年は「CSR調達説明会」を実施しました。サプライチェーン全体で取り組む重要性についてご説明し、併せて「IDECグループ CSR調達ガイドライン」に則った責任ある調達推進への理解と協力を要請しました。



中国・蘇州でのCSR調達説明会 (2019年11月18日)

IDECグループCSR調達推進計画

2018年度	「IDECグループCSR調達ガイドライン」制定 CSR調達説明会(国内) CSR調達の実態調査アンケート
2019年度	サプライヤーさまへの訪問確認 CSR調達説明会(中国・蘇州) CSR監査計画策定
2020年度	サプライヤーさまへのCSR監査実施 国際社会に通用するものづくりを実現する サプライチェーンの構築へ